

令和3年度指定管理者制度運用委員会における沖縄県営都市公園の
令和2年度指定管理者モニタリングの検証結果

1 日 時 令和3年8月25日（水）

2 場 所 オンライン（Zoom）会議

3 出席者 委 員：5名

（委 員）沖縄女子短期大学 総合ビジネス学科 教授 渡久地 啓

（委 員）沖縄税理士会 税理士 西里 恵里紗

（委 員）一般社団法人沖縄県建築士事務所協会 監事 當山 勝史

（委 員）一般社団法人沖縄県PTA連合会 会長 伊禮 靖

（委 員）公益財団法人沖縄県老人クラブ連合会 常務理事 新城 智美

4 議 事

沖縄県営都市公園（バナナ公園）の令和2年度指定管理者モニタリング実施結果の
検証

5 検証内容

- ① 指定管理者及び県が実施するモニタリングは適正になされているか
- ② 収支の状況は健全か
- ③ 利用者アンケートや苦情に対する指定管理者や県の対応は適切に行われているか

6 議事の概要

沖縄県営都市公園（バナナ公園）のモニタリングについて、大きな指摘は無かった。

7 審議事項（主な質疑応答） ○：委員 ■：都市公園課

○ 人件費が約310万円程減額できており、事業収支では約360万円の黒字となっているが維持管理に影響はないのか。

■ 令和2年度より夜間常駐警備体制が2交代制へと変更になり、警備委託料が約240万円増額した。それにより生じた収支不足分を人件費削減等で捻出したため人件費は減額となった。しかし、コロナ収束後は現状の人員管理体制では維持管理業務に支障が出てくると懸念されるため、補充採用を検討する。

○ p4の維持管理業務取組改善案での浄化槽内部に樹木の根が侵入している件について、埋設された配管の調査を専門業者に依頼とあるが改善に向けての現在の計画等があれば教えてほしい。

■ 令和3年度の修繕費予算において、配管工事及び便器取付工事を実施し、修繕した。

労働条件等自主点検表

施設名称	バナナ公園	対象年度	令和2年度
指定管理者名	沖縄県緑化種苗協同組合		

確認事項	指定管理者による確認結果						
<p>1 労働条件の明示</p> <p>労働契約を締結するに当たり、労働時間、賃金、退職（解雇の事由を含む。）、安全衛生等の労働条件を労働者に対し明示していますか。この場合において、労働時間、賃金等に関する事項について書面を交付していますか。</p> <p>労働契約の締結時には、パートタイム労働者を含むすべての労働者に対し労働時間、賃金、退職（解雇の事由を含む。）、安全衛生等の労働条件を明示しなければなりません。特に、労働契約期間、有期労働契約を更新する場合の基準、始業・終業の時刻、所定時間外労働の有無等、約定賃金の決定、計算、支払の方法及び賃金の締切り、支払の時期等、退職（解雇の事由を含む。）については、書面を交付しなければなりません〔労働基準法（以下「法」といいます。）第15条〕</p>	就業規則、労働条件通知書を交付して労働条件全般について明示している	労働条件全般について口頭で明示するとともに、労働時間、賃金等に関する事項については書面を交付している	労働条件全般について口頭で明示しているが、書面の交付はしていない	労働時間、賃金等の労働条件の一部についてのみ口頭で明示している	労働契約締結時には明示していない		
	1	2	3	4	5		
	(3～5については、改善が必要です)						
<p>2 就業規則</p> <p>就業規則（労働時間、休日、休憩、休暇、賃金の定め方及び支払方法、退職（解雇の事由を含む。）等、労働条件の具体的細目を定めた規則）を作成していますか。また就業規則の内容が実際の勤務の状況に合っていますか。</p> <p>常時10人以上の労働者（パートタイム労働者を含む。）を使用する事業場では、就業規則を作成し、所轄労働基準監督署長へ届け出なければなりません（法第89条）</p> <p>また、常時各作業場の見やすい場所への掲示、備付け、書面の交付又は電子機器の設置等により労働者に周知させなければなりません（法第106条）</p>	常時使用する労働者は10人未満である。	常時使用する労働者が10人以上である					
	作成して監督署に届け出てあり、内容も実情に合っている	作成して監督署に届け出てあるが、内容が実情に合っていない	作成してあるが、監督署に届け出ていない	作成していない			
	1	2	3	4	5		
	(3～5については、改善が必要です)						
<p>3 所定休日</p> <p>所定休日をどのように定めていますか。</p> <p>休日は少なくとも毎週1日又は4週間を通じ4日を与えなければなりません（法第35条）</p>	週休2日制		週休1日制		その他		
	完全（毎週）	月3回	隔週	月1～2回	週1日	4週4日	4週3日以下
	1	2	3	4	5	6	7
	(7については、改善が必要です)						

4 年次有給休暇
年次有給休暇についてはどのように取り扱っていますか。

年次有給休暇は、6ヶ月間継続勤務し、全労働日の8割以上を出勤した労働者については10労働日、以降1年ごとに付与日数を増加しなければなりません(法第39条)

法定どおりの年次有給休暇を与えている	年次有給休暇を与えているが、付与日数が法定を下回っている	年次有給休暇を与えていない
①	2	3

(2、3については改善が必要です)

※年次有給休暇の法定の付与日数表(週所定労働日数が5日以上、又は、週所定労働時間が30時間以上の労働者の場合。)

勤続年数	0.5	1.5	2.5	3.5	4.5	5.5	6.5以上
付与日数	10	11	12	14	16	18	20

※なお、月30時間未満の労働者は比例付与することとされています。

5 健康診断
定期健康診断を実施していますか。

常時使用する労働者については、年1回定期的に健康診断を行わなければなりません(労働安全衛生法第66条)。
なお、深夜業を含む業務等に常時従事する労働者に対しては6月以内ごとに1回定期的に健康診断を行わなければなりません(労働安全衛生規則第45条)

毎年1回以上定期的に行っている	年によって行ったり行わなかったり一定しない	行ったことがない
①	2	3

(2、3については、改善が必要です)

6 最低賃金
地域別最低賃金以上の賃金を支払っていますか。

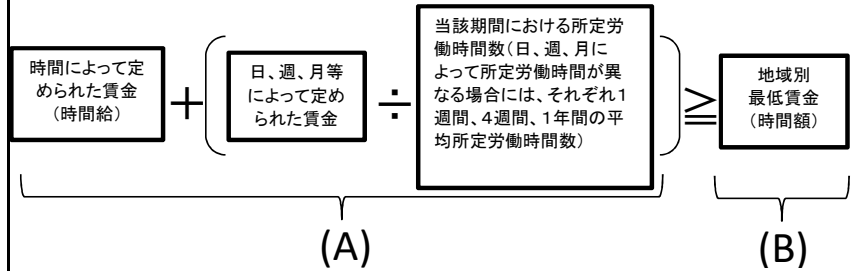
なお、地域別最低賃金には次の賃金は含まれません。

- ① 臨時に支払われる賃金(結婚手当等)
- ② 1月を超える期間ごとに支払われる賃金(賞与等)
- ③ 所定外・休日・深夜の労働に対して支払われる割増賃金
- ④ 精皆勤手当、通勤手当、家族手当

支払っている	支払っていない
①	2

(2については、改善が必要です。)

【支払う賃金(A)と地域別最低賃金(B)の比較方法】



7 割増賃金
時間外労働・休日労働又は深夜労働を行わせた場合に、その時間に対する割増賃金は、どのように支払っていますか。

法定労働時間を超える時間外労働については、2割5分以上、法定休日における休日労働については3割5分以上、深夜労働(午後10時から翌日午前5時の間の労働をいいます。)については2割5分以上の割増賃金を支払わなければなりません(法第37条)。

※割増賃金の基礎となる賃金には、家族手当、通勤手当、別居手当、子女教育手当、住宅手当、臨時に支払われた賃金、一箇月を超える期間ごとに支払われる賃金は算入しません。

時間外労働・深夜労働について

2割5分以上の割増率にしている	2割5分未満の割増率にしている	時間外労働又は深夜労働をさせているが、支払っていない
①	2	3

(2、3については改善が必要です。)

休日労働について

3割5分以上の割増率にしている	3割5分未満の割増率にしている	休日労働をさせているが、支払っていない
①	2	3

(2、3については改善が必要です。)

8 雇用保険の加入について

確認事項	従業員数	うち雇用保険加入従業員数	うち雇用保険未加入従業員数
当該指定管理施設で勤務する従業員の雇用保険加入状況	12	12	0

確認事項	指定管理者による具体的な取組内容
従業員の雇用保険加入に関する取組	雇用保険加入の条件を満たしている全ての職員に対して、雇用契約書に明記して雇用開始時に加入の手続きをとっている。

確認事項	未加入とする理由
従業員に雇用保険未加入者がいる場合の未加入理由	

※調査対象となる従業員は、雇用形態(正社員、派遣社員、契約社員、パートタイマー等)に関わらず、当該指定管理施設において指定管理者と雇用契約を結ぶ指定管理業務にもっぱら従事する従業員(令和3年3月末における業務全体のうち、当該業務の割合が概ね50%以上の従業員)となります。

9 健康保険・厚生年金保険の加入について

確認事項	従業員数	うち健康保険加入従業員数	うち健康保険未加入従業員数	うち厚生年金保険加入従業員数	うち厚生年金保険未加入従業員数
当該指定管理施設で勤務する従業員の健康保険・厚生年金保険加入状況	12	4	8	4	8

確認事項	指定管理者による具体的な取組内容
従業員の健康保険・厚生年金保険加入に関する取組	健康保険・厚生年金加入の条件を満たしている全ての職員に対して、雇用契約書に明記して雇用開始時に加入の手続きをとっている。

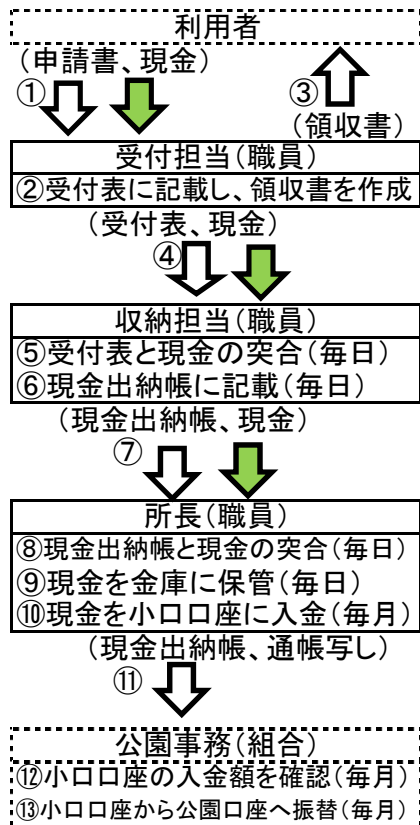
確認事項	未加入とする理由
従業員に健康保険・厚生年金保険未加入者がいる場合の未加入理由	就労時間が週24時間に満たない為

※調査対象となる従業員は、雇用形態(正社員、派遣社員、契約社員、パートタイマー等)に関わらず、当該指定管理施設において指定管理者と雇用契約を結ぶ指定管理業務にもっぱら従事する従業員(令和3年3月末における業務全体のうち、当該業務の割合が概ね50%以上の従業員)となります。

料金徴収フロー図

利用料金の名称	施設利用料金	施設の名称	多目的おまつり広場
---------	--------	-------	-----------

フロー図	利用料金の種類と金額
<p>□…… 職員等</p> <p>□…… 職員等以外</p> <p>→…… 書類等の流れ</p> <p>→…… 現金の流れ</p>	(備考) ※利用料金は、別紙添付。



- ① 受付担当職員が利用者から申請書と現金を受取る。
- ② 受付担当職員は受付表に記載し、領収書を作成。
- ③ 受付担当職員は利用者に領収書を渡す。
- ④ 受付担当職員は収納担当職員に受付表と現金を引き継ぐ。
- ⑤ 収納担当職員は現金の金額と受付表の内容を突合する。(毎日)
- ⑥ 収納担当は⑤で確認した現金額を現金出納帳に記載。(毎日)
- ⑦ 収納担当職員は現金出納帳と現金を所長に引き継ぐ。(毎日)
- ⑧ 所長は現金と現金出納帳の金額を突合する。(毎日)
- ⑨ 所長は現金を金庫に保管する。(毎日)
- ⑩ 所長は現金を小口銀行口座に入金する。(毎月)
- ⑪ 所長は組合の公園事務職員へ現金出納帳と小口座の現金有高を引き継ぐ。(毎月)
- ⑫ 組合の公園事務職員は現金出納帳と小口座の入金額を確認する。(毎月)
- ⑬ 小口座の現金を公園銀行口座へ振替する。(毎月)

別紙

(1) 行為の許可

種 別	単 位	利用料金
物品の販売その他これに類する行為を行う場合	1日につき	260円
業として写真を撮影する場合	1日につき	430円
業として映画を撮影する場合	1日につき	9,920円
興行を行う場合	1日100平方メートルにつき	250円
競技会、展示会、博覧会、集会その他これらに類する催しを行う場合	1日100平方メートルにつき	250円

備 考 利用面積が100平方メートルに満たない場合には、その満たない利用面積については、100平方メートルとして計算する。

(2) 多目的お祭り広場

区分		利用料金				備考	
		9時～13時	13時～17時	9時～17時	時間外(1時間につき)		
グラウンド	入場料を徴収しない場合	一般・学生	1,800円	1,800円	3,600円	510円	利用面積が2分の1以下の場合の利用料金は、当該利用料金の2分の1の額とする
		高 齢 者	890円	890円	1,780円	250円	
		児童・生徒	890円	890円	1,780円	250円	
入場料を徴収する場合	入場料を徴収しない場合の一般・学生、高齢者又は児童・生徒の区分及び時間の区分に応じた利用料金に、徴収する最も高い入場料の額に100を乗じて得た額を加算した額						
照明設備	全点灯	1時間につき		450円			
	2分の1点灯	1時間につき		220円			
	4分の1点灯	1時間につき		110円			

(注)

- 「時間外」とは、9時前又は17時後に有料公園施設等を利用する場合をいう。
- 「幼児」とは、満3歳から小学校就学の始期に達するまでの者をいう。
- 「児童・生徒」とは、小学校の児童並びに中学校及び高等学校の生徒その他これらに準ずる者をいう。
- 「高齢者」とは、65歳以上の者をいう。
- 「一般・学生」とは、幼児、児童・生徒及び高齢者以外の者（3歳未満の者を除く。）をいう。
- 「入場料」とは、入場料、整理料その他名義のいかんを問わず、入場者から徴収する入場の対価をいう。

備考 次の者からは利用料金を徴収しない。

- 3歳未満の者
- 幼児

指定管理者制度導入施設 モニタリングシート

施設名称	バナナ公園	対象年度	令和2年度
------	-------	------	-------

【 目 次 】

I. 履行確認		
1. 維持管理業務	1
(1) 清掃		
(2) 保守・点検		
(3) 保安・警備		
(4) 小規模修繕		
(5) 備品購入		
(6) 防犯・防災対策		
(7) 料金徴収業務		
2. 運営業務	5
(1) 利用実績		
1) 利用者数等（又は入居率等）		
2) 施設稼働率		
3) 教室・イベント等参加者数		
(2) 運営企画		
(3) 受付・接客		
(4) 広報		
(5) 情報管理		
3. 自主事業	7
II. サービスの質の評価		8
1. 維持管理業務		
2. 運営業務		
3. 自主事業		
4. 総合評価		
III. サービスの安定性評価(財務状況)		11
1. 事業収支		
(1) 収入		
(2) 支出		
2. 経営分析指標		
IV. 総合評価		14
1. 目標		
2. 評価結果		

指定管理者制度導入施設 モニタリングシート

施設名称	バナナ公園	対象年度	令和2年度
指定管理者	沖縄県緑化種苗協同組合 指定期間:令和2年4月～令和6年3月	所管課	土木建築部 都市公園課

I. 履行確認

1. 維持管理業務

(1) 清掃

事業計画	実施主体 (該当者に○印)		実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	指定管理者	委託業者	(事業報告書)	(現地確認)		
〈日常清掃〉 快適・清潔な公園を維持する為、トイレや駐車場、主要園路及び各施設の清掃を実施し美観を維持する。	○		日常的な清掃を基本とし、祝祭日の前後など利用頻度が多い場合は適宜清掃を実施。清掃回数を増やす等、常に清潔で快適な空間を提供できるよう努めた。トイレや施設内・屋外の清掃業務管理日報を作成し、ゴミ収集や清掃業務内容を日常と定期(週・月)に分けて実施した。	報告書、現場写真及び現場視察時に随時実施確認。仕様書に従い適切に管理している。	事業計画どおり適切に実施している。	前年度同様に清掃業務の知識と経験を活かした清掃方法や道具・洗剤等も適切な選定を行い、丁寧な清掃を行っていた。一方コロナ禍における衛生面も考慮し、人の手が触れる箇所はアルコール等を用いた消毒除菌などをこまめに行い、施設を清掃する際や施設の利用があった場合は十分な換気を施すなど徹底してコロナ対策を実施していた。また、定期的実施する高圧洗浄機による園路清掃は、比較的歩行者の少ない雨天時を中心に、滑りやすい箇所を調査しながら優先順位をつけて実施するなど、効率的に行っていた。
〈定期清掃〉 園内各施設、屋外も含め、清潔で快適な環境が保てるよう、定期的に清掃を実施する。	○		各施設内の床面、窓・ドアガラス洗浄等を週1回実施。また、展望台、東屋、園路、排水溝等の高圧洗浄を定期的実施。強風や大雨後は速やかに園全体の清掃及び核施設の洗浄を実施。また、法定検査に基づき、浄化槽汲み取り(20箇所)・貯水槽(5箇所)の清掃を年1回実施し清潔で安心な環境維持に努めた。	報告書、現場写真及び現場視察時に随時実施確認。仕様書に従い適切に管理している。	事業計画どおり適切に実施している。	今後も、コロナ禍での衛生管理の徹底及び、コロナ対策を踏まえた清掃を実施する必要がある。

(2) 保守・点検

事業計画	実施主体 (該当者に○印)		実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	指定管理者	委託業者	(事業報告書)	(現地確認)		
園内巡回点検や、遊具の日常・定期点検及び建物や付属設備等の保守点検を実施し機能保全を図る。	○	○	開園前、日常巡回点検と月2回の遊具・施設の定期点検、年1回の遊具定期点検を実施。専門知識や技術が必要とされる浄化槽、貯水槽、消防・電気保安業務等は専門業者による保守点検を実施。	報告書、現場写真及び現場視察時に随時実施確認。仕様書に従い適切に管理している。	事業計画どおり適切に実施している。	チェックリストに基づいた点検業務の徹底、専門業者における定期点検の実施などにより、不具合箇所への早期発見や機能改善に努めていた。 また、報道等による他公園や類似場所での事故等があった場合、即座に公園内の同様箇所を確認・安全点検を行っていた。 引き続き、利用者へ安心・安全を提供できる点検業務を心掛ける必要がある。

(3) 保安・警備

事業計画	実施主体 (該当者に○印)		実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	指定管理者	委託業者	(事業報告書)	(現地確認)		
日常的な公園の安全として、事件や事故を未然に防止するため、常駐警備を一箇所以上設置し園内警備を実施する。	○	○	昼夜の巡回警備を1日7回以上実施。また利用者への声かけ等で情報収集を行い、不審者・不審物不具合等の早期発見に努めた。また、夜間の外灯点検、施設・ゲートの施錠確認等で安全と秩序を維持することが出来た。	報告書、現場写真及び現場視察時に随時実施確認。仕様書に従い適切に管理している。	事業計画どおり適切に実施している。	日中警備と、夜間警備の連絡体制を密にし、安全危機管理の強化を図り、事件・事故等の未然防止に努めることが出来ていた。 更なる、安全管理、事件・事故等の未然防止及び、保安維持に努める必要がある。

(4) 小規模修繕

事業計画	実施主体 (該当者に○印)		実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	指定管理者	委託業者	(事業報告書)	(現地確認)		
建物及び付属設備の日常、定期点検を踏まえ、危険と判断した場合は、適切な処置を講じ、危険度・必要等で優先順位を決め実施する。	○		公園管理者の点検だけでなく、公園利用者の情報にも耳を傾け、不具合等の早期発見、対応に努め、施設の特性や劣化・損耗状況を把握し、迅速な修繕を心掛け利用者が安全で快適に利用出来るよう努めた。	報告書、現場写真及び現場視察時に随時実施確認。仕様書に従い適切に管理している。	事業計画どおり適切に実施している。	木製施設の劣化・損耗が著しい箇所は、危険性や必要性を考慮し迅速な修繕を行い安全性の保持や修繕コスト削減に努めていた。 また、専門業者における健全度調査結果に基づき、普段見落としやすい細かな箇所等の修繕も行っていた。 今後も点検を強化し、修繕箇所の早期発見と対応に努める必要がある。 また、管理者側での修繕が困難な場合や繰り返し同一ヶ所の修繕を行っている施設・設備においては、速やかな改修工事・大規模修繕が必要とされる。

(5) 備品購入

事業計画	実施主体 (該当者に○印)		実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	指定管理者	委託業者	(事業報告書)	(現地確認)		
各年度で県貸与備品照会として希望購入備品リストを作成し提出	○		備品管理台帳を作成し、使用状況、頻度等を整理し、業務に支障がないよう修繕、買換え、購入等を予算の範囲内で実施。	報告書、現場写真及び現場視察時に随時実施確認。仕様書に従い適切に管理している。	事業計画どおり適切に実施している。	日常メンテナンスの徹底、機器類取扱い前後の安全確認を行うなど適切な備品管理を実施、不具合箇所の早期発見に繋ぐことができていた。また管理台帳を基に、修繕の状況、物品の状態把握に努めていた。しかし、経年劣化、使用頻度が多い備品などは繰り返し修繕により費用も増加するため、適切な備品購入計画が必要とされる。

(6) 防犯・防災対策

事業計画	実施主体 (該当者に○印)		実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	指定管理者	委託業者	(事業報告書)	(現地確認)		
危険を予知するという視点で巡回を行い、作業スタッフも作業箇所周辺の異変や異常、施設の不具合等がないかなど多くの目で確認を行い、事故や犯罪、災害の未然防止に努める。	○		利用者が日常的に安心安全に利用できる環境の確保に努め、自然災害や火災等、緊急時の対応として防火・防災計画書を作成し、消防訓練を実施。救命処置が速やかに行えるようAEDを常備。また、危険生物に対する応急処置の講習会を開催し、現場スタッフの意識を高めた。	報告書、現場写真及び現場視察時に随時実施確認。仕様書に従い適切に管理している。	事業計画どおり適切に実施している。	大雨による冠水、土砂流出箇所に土嚢袋や土留め板を設置、園路への流出被害を最小限に留めていた。また、災害や緊急時、危険生物への対応・応急処置の講習会を開催し、実技を交えた対応方法を学習していた。今後も災害や救命などの緊急時、速やかに対応できるように心掛け、安全・安心に利用できる環境づくりを徹底していくこと。

(7) 料金徴収業務

事業計画	実施主体 (該当者に○印)		実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	指定管理者	委託業者	(事業報告書)	(現地確認)		
利用料金の徴収を行う立場を正しく認識し、安全、確実、適正な処理を行う体制を確立し、利用料金の徴収業務を行います。	○		原則窓口での現金徴収とし、占用、減免審査については条例の規定に基づき公平・公正に対応し、収受の記録や報告等を適正に実施。	報告書、現場写真及び現場視察時に随時実施確認。仕様書に従い適切に管理している。	事業計画どおり適切に実施している。	利用料の徴収においては、常に公益性を持っていることを念頭に適正な徴収業務に努めていた。

(8)植栽管理

事業計画	実施主体 (該当者に○印)		実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	指定管理者	委託業者	(事業報告書)	(現地確認)		
植栽樹木等については、専門家が定期巡回を行い、剪定、刈込み、施肥等の時期を決定し健全な植物維持管理に努める	○		年間維持管理計画に基づき、樹木等の生育に配慮した剪定、施肥等を実施。また前年度同様デイゴの再生保全対策で専門業者と連携をとり、ヒメコバチ防除対策(樹幹注入)を実施。	報告書、現場写真及び現場視察時に随時実施確認。仕様書に従い適切に管理している。	事業計画どおり適切に実施している。	植栽や樹木の生育状況の観察、開花時期と状態に配慮した剪定・施肥を実施し、健全な植栽維持管理を行っていた。 また、コロナ禍における公園利用を視野に入れ、園路や広場入り口等にプランターを設置し、花を充実させるなど、緊急事態宣言中でも多くの利用者の目を楽しませる工夫も行っていた。 デイゴをはじめ樹木などへの害虫防除に係る費用や効果的な方法を専門業者と連携し持続可能な樹木管理が必要である。

1. 維持管理業務 取組改善案	木製施設の劣化や損耗による不具合修繕においては、管理者側により対応できる範囲で実施。 設備においては、北口管理棟バリアフリートイレの排水が正常に循環しておらず、隣接する女子トイレの排水にも影響を及ぼしており、今後、専門業者に配管つまりの原因調査を依頼し、指定管理者と協議を進めたい。予算の範囲内で修繕にあたる。 また、公園内に設置してある浄化槽内部に樹木の根が進入し、浄化槽内部や配管に支障をきたす恐れがある場所が数箇所存在するため、埋設された配管の調査を専門業者に依頼し、状況に応じた補修工事も必要となってくると思われる。
--------------------	--

2. 運営業務

(1) 利用実績

1) 利用者数等

		令和元年実績	事業計画 (目標値)	令和2年実績	整合性の検証		現状分析 ・課題
					前年比	計画比	
利用者数	個人利用者数	442,276 人	320,000 人	320,848 人	73%	100%	コロナ禍において、外国人の入国規制、緊急事態宣言などが行われ、それに伴う利用者の外出自粛や相次ぐイベントの中止、また団体旅行や遠足等のキャンセルなど、様々な要因により利用者数は前年度より大幅に下回る結果となった。
	団体利用者数	141,405 人	30,000 人	37,671 人	27%	126%	
	計	583,681 人	350,000 人	358,519 人	61%	102%	
					評価(①利用状況)	A	

【評価基準(①利用状況)】

目標値に対する達成率

S : 110%以上

A : 100%以上、110%未満

B : 80%以上、100%未満

C : 80%未満

2) 教室・イベント等参加者実績

	内容	令和元年実績	事業計画 (目標値)	令和2年実績	整合性の検証		現状分析 ・課題
					前年比	計画比	
教室	通年事業(昆虫館・活性化プログラム)	14,725 人	5,000 人	5,304 人	36.02%	106.08%	コロナ禍の緊急事態宣言や市民の外出自粛が影響し、活性化プログラム・昆虫館の利用、セグウェイツアーなど参加者が減少。また、矯正展や観察会、学校行事の中止、慰霊祭などにおいても、規模を縮小しての実施などと前年度実績を大きく下回った。
	観察会、講習会、学習会、展示会、矯正展	624 人	150 人	177 人	28.37%	118.00%	
イベント	通年事業(セグウェイツアー)	1,791 人	300 人	400 人	22.33%	133.33%	
	ホタル、キッズ、健康WK、慰霊祭、童謡コン、ロードレース、緑化祭・ハロウィン、ドッグ、学校行事	10,958 人	5,000 人	5,330 人	48.64%	106.60%	
計		28,098 人	10,450 人	11,211 人	39.90%	107.28%	

(2) 運営企画

事業計画	実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	(事業報告書)	(現地確認)		
〈開園日数〉	364	報告書、現場写真及び現場視察時に随時実施確認。仕様書に従い適切に実施している。	事業計画どおり適切に実施している。	台風4号(8/3)の影響により閉園
〈開館時間〉 (駐車場利用可能時間)	7時～21時			

(3) 受付・接客

事業計画	実施主体 (該当者に○印)		実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	指定管理者	委託業者	(事業報告書)	(現地確認)		
公園管理事務所で 行うものとし、日中 は職員等を1名以上 配置し、苦情・相談 については、管理 事務所において 公園管理者が随時 対応する。	○		予約受付や利用申請、許可、付与までの手続きを条例に照らして、管理事務所にて適正に実施した。また、苦情や意見・要望等については利用者の視点に立った丁寧な対応を心がけ迅速に対処した。	報告書、現場写真及び現場視察時に随時実施確認。仕様書に従い適切に実施している。	事業計画どおり適切に実施している。	利用者の意見やニーズを積極的に取り入れ、利便性の向上と利用促進を図る事ができていた。 管理事務所の窓口においては、コロナ禍における利用者とのソーシャルディスタンスを遵守し、受付窓口にはビニールシートを設け、消毒用アルコールを設置する等の対策も実施していた。 今後とも、利用者とのコミュニケーションの向上と適切な情報提供を行っていく必要がある。

(4) 広報

事業計画	実施主体 (該当者に○印)		実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	指定管理者	委託業者	(事業報告書)	(現地確認)		
HPにおいて、イベントや公園の旬な情報の提供、インターネットの情報サイトや旅行雑誌等を利活用した情報発信。	○		地域新聞、地元情報誌、イベント情報掲載、旅行情報誌等のマスメディアに対するこまめな修正、発信を心掛け、知名度アップに繋がった。また、公園内掲示板等を利用して積極的に公園情報の発信を行った。	報告書、現場写真及び現場視察時に随時実施確認。仕様書に従い適切に実施している。	事業計画どおり適切に実施している。	コロナ禍においてイベント等の中止が相次ぎ、広報におけるほとんどがコロナ防止対策や緊急事態宣言下における公園利用についての情報発信となっていた。 掲示板や園路、各施設の入り口などにサインボードやポスターなどを掲示し、利用者への周知徹底を呼びかけていた。 コロナ収束後は、今まで以上に公園のPRに力を入れた情報発信を心掛ける必要がある。

(5) 情報管理

事業計画	実施主体 (該当者に○印)		実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	指定管理者	委託業者	(事業報告書)	(現地確認)		
基本協定書第21条に基づき、関係法令を遵守し、適切に実施している。	○		沖縄県個人情報保護条例及びその他法令を遵守するとともに、個人情報保護方針を作成し、個人情報の保護に努めた。	公園HPにて随時実施確認。適切に実施している。	事業計画どおり適切に実施している。	個人情報の取り扱いや保護等について、適正に管理を行っていた。 引き続き定期的な情報管理のチェックが必要である。

3. 自主事業

事業計画	実施主体 (該当者に○印)		実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	指定管理者	委託業者	(事業報告書)	(現地確認)		
パンナ公園ホテル観賞会 キッズイベント 昆虫教室・採集と標本づくり 童謡コンサート 緑化愛護デー ハッピーハロウィーン 健康づくりウォーキング パンナ公園ひなまつり	○		予定していた自主事業イベントは、新型コロナウイルス感染症の影響により全て中止となった。	報告書、現場写真にて随時実施確認。適切に実施している。	事業計画どおり、適切に実施している。	コロナ禍における、利用者の健康や安全を考慮した結果、残念ながら自主事業イベントは中止となった。自主事業イベントは、利用者からの期待度も大きく、公園の活性化や収益にも繋がるので、コロナ収束後は一層力を入れて取り組む必要がある。

2. 運営業務 3. 自主事業 取組改善案	2. 運営業務 これまで同様、適正な情報管理を行い、広報活動においても多くの市民や利用者へ正しい情報発信を行い、更なる公園運営業務へ繋げていくこと。 3. 自主事業 自主事業イベントは新型コロナウイルスの影響により、中止を余儀なくされた。 今後新型コロナウイルスの収束を見据え、公園の活性化及びPRに大きく繋がる自主事業に取り組みに力を入れる必要がある。
-----------------------------	---

II. サービスの質の評価

評価項目		第三者(利用者等)評価			指定管理者 自己評価	現状分析・課題
		令和元年評価	令和2年目標	令和2年評価		
維持管理 業務	施設・設備 管理	〈満足度〉99.2%※1) ・満足77.0% ・やや満足22.2% ・やや不満0.8% ・不満0%	〈満足度〉100%※1)	〈満足度〉100%※1) ・満足72.3% ・やや満足27.7% ・やや不満0% ・不満0%	S	職員による日常の巡回・点検を強化し、不具合箇所の早期発見と早期補修・整備等に努め、また、専門業者による設備点検・法定検査も参考にする等で施設の維持管理へと繋ぎ、公園内安全管理の徹底を実施することができた。
				〈改善要望〉 ・雨上がりに滑りやすい場所がある。など		
運営 業務	接客対応	〈満足度〉99.6%※1) ・満足79.6% ・やや満足20.0% ・やや不満0.4% ・不満0%	〈満足度〉100%※1)	〈満足度〉100%※1) ・満足78.0% ・やや満足22.0% ・やや不満0% ・不満0%	S	利用者との交流を図りながら要望、意見などを積極的に取り入れ、安定した接客サービスを提供。また、積極的に挨拶や声掛けなどのコミュニケーションを図り、利用案内や情報提供を行うと同時に、苦情・要望に対しても迅速に対応した。
				〈改善要望〉 ・ルールを守らない人(マスク未着用や、ノーリードでの犬の散歩など)に対して、もう少し強く注意しても良いのではないか。 など		
施設・設備	施設・設備	〈満足度〉99.6%※1) ・満足79.6% ・やや満足20.0% ・やや不満0.4% ・不満0%	〈満足度〉100%※1)	〈満足度〉96.1%※1) ・満足63.3% ・やや満足32.8% ・やや不満3.4% ・不満0.6%	S	遊具設備、トイレや休憩所等の施設も日常点検により、利用しやすい施設・設備を提供することが出来た。
				〈改善要望〉 ・子供広場に水飲み場があると良い。 ・洋式トイレの数を増やしてほしい。 ・雨の日に楽しめる施設があれば尚良い。など。 ・園内にゴミ箱があればゴミも減るのである。 ・花火やバーベキューのできる場所を設けてほしい。		

利用条件	〈満足度〉99.6%(*1) ・満足79.6% ・やや満足20.0% ・やや不満0.4% ・不満0%	〈満足度〉100%(*1)	〈満足度〉95.0%(*1) ・満足58.8% ・やや満足36.2% ・やや不満4.5% ・不満0.6%	S	多くの利用者や外部団体等の声を活かすことにより、安全・安心で利用しやすい公園を提供することが出来た。 また、必要箇所にはサインボード等を設置し正しい公園利用のルールも掲示し、周知に努めた。主要施設における消毒液の設置、「マスク着用、密を避けるお願い」の掲示など、コロナ禍においても安心して施設を利用できるよう配慮。	県の緊急事態宣言における遊具の使用中止や駐車場の閉鎖に伴い、期間中に不満の声が上がる事もあったが、施設解放後は不満の声はなくなった。ウォーキングや散歩等も増加傾向にある中、公園内での交通事故を防止するため、安全運転を促すサインボードの設置も必要とされる。
教室・プログラム	〈満足度〉100%(*1) ・満足100% ・やや満足0% ・やや不満0% ・不満0%	〈満足度〉100%(*1)	〈満足度〉100%(*1) ・満足100% ・やや満足0% ・やや不満0% ・不満0%	S	施設活性化プログラムの利用の普及や認知により新規のサークルの利用や以前からのサークル活動も盛んになり、利用内容も充実してきた。	計画的な事業を実施したことにより、利用者ニーズに対応した教室やサークル活動で幅広い年齢層の利用促進に繋がっている。
自主事業	〈満足度〉99.6%(*1) ・満足77.8% ・やや満足21.8% ・やや不満0.4% ・不満0%	〈満足度〉100%(*1)	〈満足度〉66.1%(*1) ・満足40.1% ・やや満足26.0% ・やや不満0% ・不満0% ・未回答33.9%	C	コロナ禍の影響を受け事業計画における各自主事業イベントは中止を余儀なくされた。自主事業のアンケート欄に不満の声は上がらなかったものの、未回答が3割以上を占めた。	過去にイベント参加経験のある多くの利用者が高満足度であったため、期待に応えられるよう、コロナ収束後は様々な自主事業イベントの開催に努めること。
総合評価 (各評価項目の平均)	〈満足度〉99.6%(*1)	〈満足度〉100%(*1)	〈満足度〉92.8%	評価 (②満足度) S	アンケートの意見・要望欄へは「管理がしっかり行き届いている」「笑顔で挨拶してくれる」など、公園への全体的な好感度は非常に高いものと思われる。 また、文字だけだと伝わりにくい改善要望が利用者から直接得られるという点も大きなメリットとなった。 デメリットは、管理者が巡回中に利用者や遭遇することが前提の調査方法であり、後日、同一人物へ別の管理者がアンケート依頼して断られるケースも何度かあった。 実際に利用者とのコミュニケーションを取りながら多くの情報が入手できた点を考慮すれば、今回のアンケート回収方法は良い結果をもたらした。	コロナ禍の緊急事態宣言により公園利用の一時制限や、自主事業イベントの中止など利用者が減少する要因はあったが、自粛期間中でもウォーキングや気分転換、遊具目的で公園を利用する市民は多数おり、感染症収束後は団体での利用や自主事業イベントに参加する利用者が再び増加する事を視野に入れ、今後も適正な施設・設備の維持管理や接客を行った上で、公園利用者の満足度向上へと繋げていく必要がある。

※1:満足度とは、回答選択肢のうち中位を超える割合(5段階評価の場合上位2段階の割合、4段階評価の場合上位2段の割合、3段階評価の場合上位の割合)

ただし、奇数評価の場合、中央に集まる傾向があること、「普通」評価は改善に繋げる観点では価値が乏しいことから、4段階評価が望ましい。

【評価基準 (②満足度)】

総合評価においては各評価項目の満足度の平均
各評価項目においてはそれぞれの満足度

S : 90%以上

A : 80%以上、90%未満

B : 70%以上、80%未満

C : 70%未満

<p>Ⅱ. サービスの質 の評価 取組改善案</p>	<p>木製施設の修繕や点検における不具合箇所の早期発見に努め、安心・安全な公園利用を提供することができていた。今後は、来園者が利用しやすい安全な環境作りを目標とし、利用者の改善要望を真摯に受け止め、改善できる点があれば早急に対処する。コロナ感染症が終息すれば、自主事業イベントにも力を入れ、より良い公園の活性化を行う必要がある。</p>
------------------------------------	--

III. サービスの安定性評価(財務状況)

1. 事業収支

(1) 収入

収入項目		令和元年実績	事業計画	令和2年実績	前年比 (%)	計画比 (%)	特記事項
利用料金収入	施設利用料収入	334,710	250,000	314,930	94%	126%	多目的お祭り広場
	行為の制限に係る利用料収入	70,260	50,000	12,070	17%	24%	
	計	404,970	300,000	327,000	81%	109%	
指定管理料		44,912,037	45,212,000	45,212,000	101%	100%	
自動販売機収入		2,506,541	2,400,000	2,359,351	94%	98%	使用料含む
不可抗力・大規模修繕等		0	0	0	0%		
その他収入	受取利息・雑収入	49	0	50	102%		
自主事業収入	自主事業収入	2,145,832	2,269,750	709,112	33%	31%	公益事業・活性化プログラム 昆虫館・セグウェイ
	計	2,145,832	2,269,750	709,112	33%	31%	
合計(A)		47,823,597	47,912,000	47,898,401	100%	100%	合計額に自主事業収入は含まれておりません。
〈現状分析・課題〉 緊急事態宣言中においての施設利用制限、利用者の自粛による施設利用のキャンセル等により、施設利用収入は前年度を下回る結果となっているが、前年度の全体利用者数と比較すると、今年度利用者数は大幅に減少しているにも関わらず、施設利用収入は着実に実績を上げている。今後も多くの利用者を受け入れられるよう、常に良好な状態の施設維持に努めると共に、感染症収束後には自主事業イベントにも力を入れ収入増加に繋げていくこと。							

(2) 支出

支出項目	令和元年実績	事業計画	令和2年実績	前年比 (%)	対計画比 (%)	特記事項	
人件費(給与、法定福利費等)	24,255,012	22,610,000	21,152,823	87%	94%		
賃金	0		0				
報償費	0		0				
旅費	174,216	250,000	0	0%	0%		
食料費(会議費)	6,147	35,000	8,850	144%	25%		
消耗品費	726,816	780,000	645,605	89%	83%		
燃料費	1,246,126	1,250,000	1,024,345	82%	82%		
印刷製本費	107,641	110,000	39,555	37%	36%		
光熱水費	5,661,475	5,750,000	4,968,895	88%	86%		
通信運搬費	267,554	280,000	225,513	84%	81%		
広告料	0	15,000	0	0%	0%		
手数料	15,264	20,000	11,990	79%	60%		
施設賠償責任保険料等	395,200	400,000	395,805	100%	99%		
自動車損害保険料	63,710	70,000	66,490	104%	95%		
委託料	7,105,840	9,629,880	9,433,380	133%	98%		
使用料及び賃借料	1,510,075	1,604,000	1,434,602	95%	89%		
備品購入費	234,444	250,000	320,416	137%	128%		
負担金	13,200	15,000	0	0%	0%		
公租公課	2,341,366	2,100,000	2,302,057	98%	110%		
施設修繕費	2,012,329	2,000,000	2,008,008	100%	100%		
不可抗力・大規模修繕等	0	0	0	0%	0%		
その他	208,412	730,000	225,290	108%	31%	外注費・原材料費・雑費	
合計(B)	46,344,827	47,898,880	44,263,624	96%	92%		
〈現状分析・課題〉 コロナの影響により公園利用者数が減少した結果、パンフレットなどの印刷費や水道などの光熱費、消耗品費など公園利用者が直接関係してくる支出が減少。支出の中でも前年度を特に大きく上回ったのが委託料であり、中でも警備委託費が増加。常駐警備体制が2交代制への変更が要因とされる。一方、こまめな機械メンテナンスにより燃費が向上、燃料費の減少に伴いエネルギーの節約にも繋がったため、今後も意識的に経費節約に努めること。							

2. 経営分析指標

評価指標	令和元年実績	事業計画	令和2年実績	前年比 (%)	計画比 (%)	特記事項
事業収支(C) (収入(A)-支出(B))	1,478,770	13,120	3,634,777	246%	27704%	
収益率 (事業収支(C)/収入合計(A))	3.09%	0.03%	7.59%	245%	27712%	
利用料金比率 (利用料金収入/収入(A))	0.85%	0.63%	0.68%	81%	109%	
人件費比率 (人件費/支出(B))	52.34%	47.20%	47.79%	91%	101%	
外部委託費比率 (外部委託費合計/支出(B))	15.33%	20.10%	21.31%	139%	106%	
利用者あたり管理コスト (支出(B)/利用者数)	79.40	136.85	123.46	155%	90%	
利用者あたり自治体負担コスト (指定管理料/利用者数)	76.95	129.18	126.11	164%	98%	
<p>〈現状分析・課題〉</p> <p>利用者減にも関わらず、管理コストや自治体負担コストが増加。常設の消耗品に加え、各施設に設置した除菌用アルコール等の感染症対策費用によるものと考えられる。実績上は収支の数値が増加しているように見えるが、コロナ関連で支出が減少傾向にあるのも大きな要因。感染症収束後、支出をいかに維持していけるか課題となる。</p>						

評価(③財務状況)

A

【評価基準(③財務状況)】
 収益率(事業収支/収入合計)
 A: 0%以上
 B: -5%以上、0%未満
 C: -5%未満

III. サービスの安定性評価 (財務状況) 取組改善案	常に経費削減意識し、省エネや修繕費の見直しなど、コスト削減に繋がる維持管理に努めること。 また、感染症終息後には、速やかに増収が見込める自主事業の再開、有料施設の利用促進に繋がるPRを検討するなど、収入の増加を図る必要がある。
------------------------------------	--

【経営分析指標の評価の考え方】

評価指標	計算方法	評価の考え方
事業収支	収入－支出	事業収支がマイナスの場合、継続性の面で課題となるため、県、指定管理者で協力して黒字化のための方策を協議する必要がある。 ※計画や過年度実績に対し変動がある場合には、その要因を整理すること。
収益率	事業収支／収入	計画、過年度実績、類似施設と比較して、安定したものとなっているか、適切な範囲内となっているか確認する。 ※計画や過年度実績に対し変動がある場合には、その要因を整理すること。 ※計画等に対し上昇している場合、必要な変動費が十分に充てられているか確認すること。また、計画等に対し減少している場合、当初の収支見込が適切であったか精査すること。
利用料金比率	利用料金収入／収入	指定管理者の主な収入源がどこにあり、それが安定したものであるのかを確認する。 ※過年度実績に対し増減がある場合には、利用料金そのものの増減によるものか、自主事業等その他収入の増減によるものかなど、その要因を整理すること。
人件費比率	人件費／支出	過年度実績や類似施設と比較して、適切な範囲内となっているか確認する。 ※変動がある場合には、人件費そのものの増減によるものか、その他支出項目の増減によるものか、その要因を整理すること。 ※人件費の減少がある場合には、それにより効率が低下していないかを確認する。また、人件費の増加がある場合には、求められる管理水準に対し必要な措置か確認すること。
外部委託費比率	外部委託費合計／支出	過年度実績や類似施設と比較して、適切な範囲内となっているか確認する。 ※増減がある場合には、外部委託の範囲が仕様書等に定める適切な範囲内となっているか、外部委託の活用が業務の効率化に繋がっているか確認する。
利用者あたり管理コスト	支出／利用者数	利用者1人に対する管理コストについて、過年度実績や類似施設と比較することにより、当該施設の効率性を確認する。(コストが抑えられていても利用者が減少していないか、あるいは利用者は増加しているがコストがかかり過ぎていないかなど) ※変動がある場合には、その要因を整理すること。 ※過年度に対し上昇している場合、現状の利用者数に対して支出が過大になっていないか確認する。また、過年度に対し減少している場合、現状の利用者数に対し、必要な変動費が十分に充てられているか確認する。
利用者あたり自治体負担コスト	指定管理料／利用者数	利用者1人に対する県の財政負担を確認する。 過年度実績や類似施設との比較により、当該施設の効率性を確認する。

IV. 総合評価

1. 目標

評価項目	評価指標	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	備考	
成果指標	①利用状況	利用者数	450,000	500,000	510,000	520,000	
	②満足度	満足度	100%	100%	100%	100%	
財務指標	③財務状況	収益率	5.00%	6.00%	6.00%	6.00%	

2. 評価結果

評価項目	評価指標	令和元年実績	事業計画 (目標値)	令和2年実績		現状分析・課題	評価	取組改善案	令和3年 目標値		
				前年比	計画比						
成果指標	①利用状況	利用者数	583,681 人	350,000 人	358,519 人	61.42%	102.4%	<p>利用者数の減少は新型コロナウイルス感染症予防対策による駐車場や遊具閉鎖等の利用規制、団体利用や外国人観光客の著しい減少による影響が大きな要因であると思われる。</p> <p>一方、自粛期間中の運動不足解消によるウォーキング利用等運動目的、GoToキャンペーンによる個人観光客の一時的な増加により、利用者数は目標値を下回ることはなかった。</p> <p>今後もコロナ禍において今以上に安心して利用できる環境作りに努め、感染症終息後は、前年度の実績以上に利用増加へ繋がる自主事業イベントや広報におけるPR活動に注力していくことが課題となる。</p>	A	<p>コロナ収束を見据え、公園内の景観美化や施設の管理を怠らず、計画的かつ合理的な管理運営に努め、より身近で魅力的な公園を提供し、利用者数増加を図るよう努めること。</p>	450,000 人
	②満足度	満足度	99.58%	100%	92.80%	93.19%	92.800%	<p>アンケートの結果、施設・設備管理や管理者、また、教室などに関する不満の声はなかった。</p> <p>しかし、自主事業に対する未回答も多く、満足度低下の大きな要因となった。</p> <p>また、新型コロナウイルスの影響による施設・設備の使用制限に対し、一部利用者からの不満も反映された結果、総合的に前年度実績を下回った。</p> <p>今後、利用者からの不満の声を分析・改善し、更なる満足度向上を目指す必要がある。</p>	S	<p>満足度水準が90%以上と高いものの、現状に甘んずることなく、利用者や学校・福祉施設等、外部団体の意見やニーズにも耳を傾けながら、不満に対する改善点を見出し、利用満足度の向上へ繋げていく。</p>	100%
財務指標	③財務状況	収益率	3.09%	0%以上	7.59%	246%	—	<p>収入の大きな増加はなかったが、機器の燃費を向上させるための努力や節水・節電などの省エネ意識を高めた結果、コロナの影響も加わるが、支出も抑えることが出来ていた。</p> <p>今後も修繕費等の見直しや、適切な備品購入によるコスト削減にも努める必要がある。</p>	A	<p>今後も経費削減を意識した維持管理業務に努め、コロナ終息後には、新規公園利用者の増加を目標に、増収が見込める自主事業、活性化プログラム多目的お祭り広場の展開にも力を入れること。</p>	5.00%

活動指標	④重点取組事項	アンケート回収数の増加 ※入場者数に対するアンケート回収数の割合	233 枚	175 枚	177 枚	76.0%	101.1%	コロナ禍における公園利用者の減少、相次ぐイベント中止の他、感染予防の観点から各施設に設置していたアンケートスペースを撤去。管理者巡回時における利用者への直接アンケートの実施となったが、定めていた目標値に達することができていた。今後もコロナ禍においては、巡回時の直接アンケートの数を増加させ、また感染症終息後には、イベント等にて、より多くの利用者から意見や要望を収集する必要がある。	A	管理者巡回時における直接アンケートの回収を強化していくと共に、コロナ収束後の自主事業等のイベント開催時においては、より多くの意見や要望を収集し、更なる公園の活性化に努めること。	175 枚
			総合評価		S						

【評価基準】

①利用状況

目標値に対する達成率

- S : 110%以上
- A : 100%以上、110%未満
- B : 80%以上、100%未満
- C : 80%未満

②満足度

総合評価における満足度（各評価項目の平均値）

- S : 90%以上
- A : 80%以上、90%未満
- B : 70%以上、80%未満
- C : 70%未満

③財務状況

収益率（事業収支／収入合計）

- A : 0%以上
- B : -5%以上、0%未満
- C : -5%未満

④重点取組事項

目標に対する評価

- S : 目標を大きく上回る
- A : 目標を概ね達成
- B : 目標を下回る

【総合評価基準】

総合評価基準	
S	40点以上 <small>かつ各評価項目においてC評価がないこと</small>
A	25点以上
B	10点以上
C	5点以下

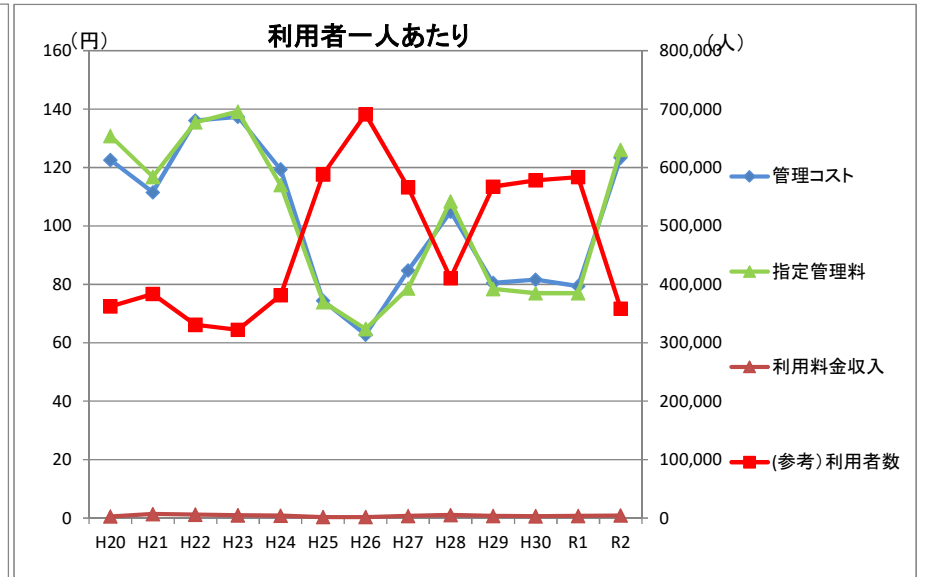
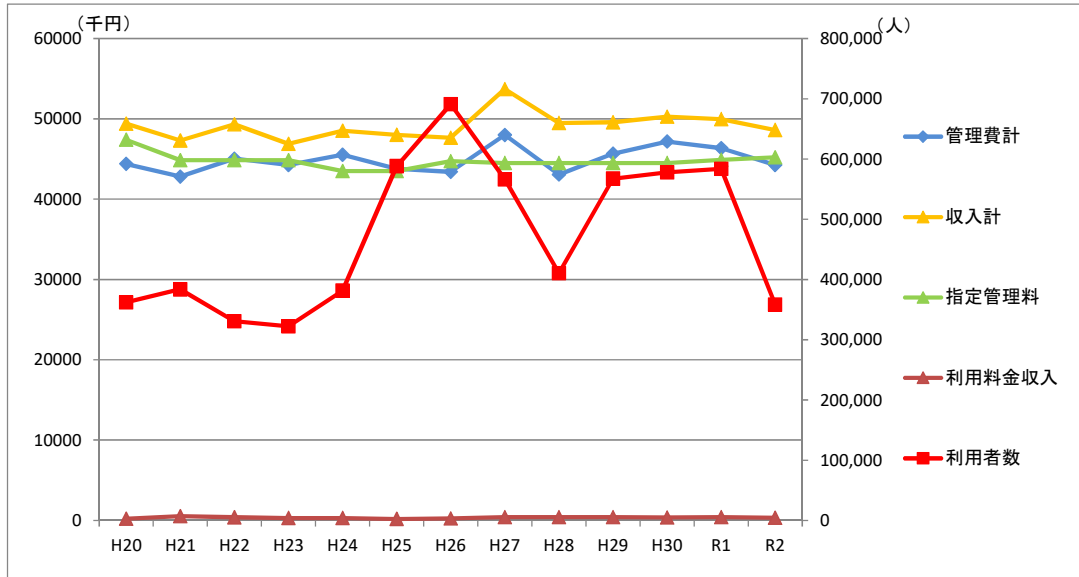
【各評価項目点数】

	① 利用状況	② 満足度	③ 財務状況	④ 重点 取組事項
S	20	20	-	10
A	10	10	5	5
B	0	0	0	0
C	-10	-10	-5	-5

経営状況分析シート【施設名称:バナナ公園】

指標	単位	直営		指定管理																R1	R2	R3	R4
		H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30							
成果指標	利用者数	目標																579,000	350,000	450,000	500,000		
		実績	人				362,219	383,789	330,942	322,199	381,487	588,285	691,147	566,220	410,434	567,371	578,096	583,681	358,519				
		目標比																					
財務指標	指定管理料	千円				47,390	44,840	44,840	44,840	43,500	43,500	44,743	44,500	44,500	44,500	44,500	44,500	44,912	45,212				
	県負担割合(指定管理料/管理費計)	%				106.8%	104.7%	99.5%	101.3%	95.5%	99.3%	103.1%	92.7%	103.4%	97.4%	94.3%	96.9%	102.1%					
	利用料金収入	千円				206	528	390	297	312	184	253	406	407	410	365	405	327					
	利用料金比率(利用料金/収入計)	%				0.4%	1.1%	0.8%	0.6%	0.6%	0.4%	0.5%	0.8%	0.8%	0.8%	0.7%	0.8%	0.7%					
	その他収入(自販機・自主事業等)	千円														4,591	4652	3068					
	収入計	千円				49,420	47,304	49,311	46,900	48,520	48,030	47,651	53,714	49,489	49,566	50,291	49,969	48,607					
	管理費計	千円				44,389	42,819	45,060	44,254	45,534	43,787	43,411	48,001	43,056	45,673	47,181	46,344	44,263					
	収支	千円				5,031	4,485	4,251	2,646	2,986	4,243	4,240	5,713	6,433	3,893	3,110	3,625	4,344					
	収益率(収支/収入計)	%				10.2%	9.5%	8.6%	5.6%	6.2%	8.8%	8.9%	10.6%	13.0%	7.9%	6.2%	7.3%	8.9%					
	/単位	一人あたり管理コスト	円				123	112	136	137	119	74	63	85	105	80	82	79	123				
	一人あたり指定管理料	円				131	117	135	139	114	74	65	79	108	78	77	77	126					
	一人あたり利用料金収入	円				1	1	1	1	1	0	0	1	1	1	1	1	1					

※施の特性に応じて、経営状況の分析に適した指標の追加・削除や、表示方法の修正を行ってください。



特記事項

R2年度	コロナウイルス感染症の影響により、自主事業は中止。
R3年度	コロナウイルス感染症の影響により、年度末の自主事業は中止。
R4年度	大型クルーズ船の入港、LCCの就航等で観光客(外国人・邦人)が増。
R5年度	SNSや旅行情報誌、クルーズ船等で観光客(外国人・邦人)が増。

目標設定の考え方

R2年度	新型コロナウイルス感染症の影響を鑑み、前年度実績の約5割に目標を設定。
R3年度	新型コロナウイルス感染症の影響を鑑み、1年間かけて利用者数が戻ると仮定し、H31年度の実績を目標に設定。
R4年度	前年度実績の約5%増。
R5年度	前年度実績の約5%増。